

KINJO MIND

# KIND

Kinjo University 2015.03

No.20

▶ **在学生ピックアップ**

▶ **後援会活動報告**

平成26年度後援会 地域別説明会・個別相談会、  
決算見込み及び経費執行経過報告、  
後援会による主な教育・研究支援について

▶ **大学行事**

卒業研究発表会、ハナミズキ植樹式、  
金城学園創立110周年記念日に特別講話、  
電飾イルミネーション『金城Hot Spot』～WHITE SMILE～点灯式、  
学生との意見交換会、平成26年度卒業証書・学位記授与式

▶ **トピックス**

第9回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告、  
金城大学・金城大学後援会共催事業 講演会開催報告、  
看護学部棟竣工式・内覧会

▶ **教育・研究活動報告**

研究活動成果報告会開催報告、科学研究費助成事業採択状況  
「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」状況報告

▶ **クラブ・同好会活動報告**

▶ **平成26年度卒業パーティー**

▶ **平成27年度大学行事案内**



創立110周年  
金城学園

学校法人金城学園は  
平成26年11月4日に  
創立110周年を迎えました。

# 在学生ピックアップ

## アクティビティ活動の企画・運営能力や コミュニケーション能力が向上



社会福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース3年 新村慶士

ゆうがく広場では、地域の高齢者の方を大学に招き、園芸や夏祭り、お正月など季節に添った様々なアクティビティ活動を行っています。介護福祉コースの3年生が主となり、今年は「明朗快活」というテーマを掲げ参加者の方々と活動を通して交流を図りました。ゆうがく広場の参加者は、実習で関わる高齢者の方々と少し違い、日々元気に活動されている方が多く、毎回活動を楽しみに遠くから歩いて来てくださる方もいました。

企画を考える際は「季節感がほしいね」「どんな企画なら面白いかな？」などチームメンバーとアイデアを出し合いながら進めていく過程から歩いて来てくださる方もいました。

ゆうがく広場の活動を通して、アクティビティ活動の企画・運営能力の向上や「コミュニケーション能力を高めることができ、参加者の企画を立てることの大切さを学ぶことができました。このような貴重な経験を福祉現場で活かし、一人ひとりに合った支援を実践できる介護福祉士になりたい」と思っています。



## もっと一緒に活動したいと思うほど楽しく 達成感も得られる貴重な経験

社会福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース3年 浮田未佳

ゆうがく広場では、学生が企画したアクティビティ活動を地域の高齢者の方々と行っています。企画では、参加者の方々が安全にかつ、楽しんでいただくために、試行錯誤しながら学生同士、意見を出し合い準備をしています。活動では、参加者の方々のさまざまな表情を見るのができます。花の苗植えては、真剣さの中にも、ユーモアを交えて植え方などを教えていただきました。しおり作りでは、完成したしおりを「これ今日から家で使っわあー」とこやかな表情で見せてくださいました。みんなで準備

備してきた企画に参加者の方々に喜んでいただけると、やりがいを感じることも、よいものにしていくという向上心も生まれます。そしてなにより、「楽しかった、いい思い出になった」と言ってお帰られる方を見ると、とても嬉しいし、達成感も得られます。参加者の方々とこの関わりにより、ゆうがく広場の活動が私の中で楽しみに変わりました。毎回、活動を終えるたびに「一緒に活動をしたと思うほど、楽しい時間になりました。ゆうがく広場での活動は私にとって、大変貴重な時間になりました。このような経験ができる環境に感謝したいと思います。」



## 運営班のリーダーを務めることで身に付いた 気配りと責任感を臨床実習にも活かしたい



医療健康学部 理学療法学科3年 青海克彦

私が悠遊健康サークルに参加するようになったきっかけは、2つあります。1つ目は、患者様によりわかりやすく評価の方法を伝えられるようになりたいと感じたからです。2つ目は、参加者さんと接する機会を得ることで、患者様にとって最善を尽くせるよう、より先のことを考える能力を育てたいと思ったことです。

サークルでは、運営班のリーダーを務める機会をいただきました。臨床評価実習での失敗もあり、自分にリーダーが務まるか不安でいっぱいでしたが、同級生の協力や先生方のアドバイスに助けられながら精一杯やっています。運営

班の仕事内容は、主に活動での司会や参加している学生の役割を決めて指示を出すことです。初めて司会をした時はとても緊張しましたが、回数をこなしていくうちに少しずつですが、人前で話すことにも慣れることができて、良い経験を得ることができました。また、リーダーとして自分のことだけでなくサークルの皆へ気配りをし、指示を出すことでサークル活動を円滑に行えるよう責任感を持って取り組みました。このような活動を通して少しずつ先のことを考えることができるようになっていきたいと思います。4年生での臨床実習にこの経験を活かしていきたいです。



## 姿勢分析やホームプログラムなど 「利用者のために考える」やりがいがある活動

医療健康学部 理学療法学科3年 山本有紗

私は入学して悠遊健康サークルの活動を知った時、興味はあったのですが積極的に参加していませんでした。しかし、3年生になりいろいろな知識や実技を学んできた自分が、今どこまで出来るのか試したくてサークルに参加しました。サークルに参加すると、自分の至らなさに気づくことができました。利用者さんはそれぞれ目標を持って参加していますが、その目標を達成するにはどのようなトレーニングをすればいいか、また現在の利用者さんの姿勢や筋力は何のくらいあるのか考えることが大変

でした。しかし最初はあまり話してくださらなかった利用者さんが段々と自分のことを教えてくださり、たくさんお話しして、何より嬉しかったのは「あなたとおたら元気になる」と言っていたことです。私も明るい利用者さんに元気をもたらしているのに利用者さんも同じ気持ちだと知って、このサークルに参加して良かったと思います。姿勢分析やホームプログラムなどやることはたくさんありますが、利用者さんのために考えることはとてもやりがいのあることです。大学生活の中で、より臨床に近い経験ができることは貴重だと感じています。



準備していただき、みんなで準備

備してきた企画に参加者の方々に喜んでいただけると、やりがいを感じることも、よいものにしていくという向上心も生まれます。そしてなにより、「楽しかった、いい思い出になった」と言ってお帰られる方を見ると、とても嬉しいし、達成感も得られます。参加者の方々とこの関わりにより、ゆうがく広場の活動が私の中で楽しみに変わりました。毎回、活動を終えるたびに「一緒に活動をしたと思うほど、楽しい時間になりました。ゆうがく広場での活動は私にとって、大変貴重な時間になりました。このような経験ができる環境に感謝したいと思います。」



筋力は何のくらいあるのか考えることが大変

です。大学生活の中で、より臨床に近い経験

# 後援会活動報告

## 平成26年度 後援会 地域別説明会・個別相談会

平成26年12月13日(土)13時より、今年度も能登会場・福井会場・富山会場の全3会場にて、地域別説明会・個別相談会を実施しました。

能登会場は「ホテルウェルネス能登路」にて15人、福井会場は「福井織協ビル」にて12人、富山会場は「ポルファートとやま」にて36人、合計63人の保護者の方にご参加いただきました。各会場とも、修学状況や学生生活、就職活動や各種資格に関する数多くのご質問・ご意見をいただき、教職員が個別に対応しました。



## 決算見込み及び経費執行経過報告(購入備品・寄付状況等について)

平成26年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会費	14,805,000
利息	1,060
雑収入	10,000
前年度繰越金	2,638,839
合計	17,454,899

平成26年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	4,987,190
就職・教育活動支援費	5,077,537
会員研修費	300,000
研究活動支援費	725,760
会議費	526,157
通信費	425,000
慶弔費	260,000
事務費負担金	500,000
広報費	896,000
雑費	107,320
卒業記念品代	984,960
同窓会交流パーティー開催補助費	100,000
予備費	0
特別会計繰入金	1,000,000
合計	15,889,924

次年度繰越金	1,564,975
--------	-----------

## 後援会による主な教育・研究支援について

### 学生活動支援費

昨年度に引き続き、社会福祉学部棟・医療健康学部棟の講義室等に計9個の壁掛け時計を購入しました。

### 就職・教育活動支援費

年間を通して、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

### 研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集について、平成27年1月に発行し、全学生に配付しました。

### 広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報等を提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

### 卒業記念品代

ボールペンセット(パーカー)を購入し、平成27年3月18日(水)卒業式当日、卒業生(220人)に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、平成27年度後援会総会(平成27年6月中の土曜日を予定しています)資料にてご報告させていただきます。

# 大学の教育・研究活動報告

## 大学行事

### 卒業研究発表会



医療健康学部…平成26年10月4日  
 社会福祉学部…平成26年12月～27年2月  
 医療健康学部は、10月4日(土)に学部全体で卒業研究発表会が行われ、社会福祉学部は、12月～2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会が行われました。4年生にとっては、大学生活の集大成の発表会であり、様々な研究内容が報告されました。また、多くの質疑応答もあり、大変充実した研究発表会となりました。

### ハナミズキ植樹式

11月6日(木)、社会福祉学部棟植え込みに米政府から日本に贈られたハナミズキが植えられました。これは世界的化学者高峰謙吉博士らが米国に桜を寄贈して100年の節目を記念し、日本に届けられたものです。「日米友好の木ハナミズキいしかわ植樹事業実行委員会」が譲り受けた70本のうち6本が本学に植樹されました。



式では学生、職員が見守るなか、加藤博副理事長、半谷静雄学長が高さ1.5メートルの苗木に土をかぶせ、成長を願い、11月4日に創立110周年を迎えた金城学園の新たなシンボルとして親しまれることに期待しました。

平成26年11月6日

### 金城学園創立110周年記念日に特別講話



学園が創立110周年を迎えた26年11月4日(火)、「金城学園創立110周年記念特別講話」が催され、加藤博副理事長が1904(明治37)年に金城遊学館が創設された後の110年の学園のあゆみ、第二代加藤二郎理事長が著した「先生ごこ

平成26年11月4日

ろ、金城学園の教育理念などについて、約130人の教職員、学生に特別講話しました。併設の遊学館高等学校でも同日、加藤晃学園長の特別講話が開催されました。

### 電飾イルミネーション『金城Hot Spot』 『WHITE SMILES』点灯式



キャンパス内の正面エントランスサークルに兼六園をイメージした雪吊りのイルミネーションが施され、12月12日(金)に点灯式が行われました。7回目となる今年のテーマは、学友会からの提案で「WHITE SMILE」に決定し、実施されました。式では本学学生によるハインドベル演奏、金城大学附属西南幼稚園の園児によるクリスマスソングが披露され、賑やかな雰囲気誘われて、サンタクロースとトナカイが現れ、園児と参加者に「足早いクリスマスプレゼント」が手渡されました。

平成26年12月12日

### 学生との意見交換会

例年実施している学生との意見交換会は、学部別に、12月15日(月)に社会福祉学部、1月14日(水)に医療健康学部が行われました。各学部の1年生から4年生の学生と教職員が食堂や各施設、授業運営など多岐に渡り約2時間、意見を交えしました。大学及び後援会では、学生の意見を参考にして、よりよい教育環境の整備に努めていく予定です。

平成26年12月15日・平成27年1月14日

### 平成26年度卒業証書・学位記授与式

平成27年3月18日(水)に第12回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生159人、医療健康学部の卒業生61人が学び舎を後に

平成27年3月18日

し、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真二理事長が告辞を述べ、半谷静雄学長が「失敗を恐れず、常に楽観主義でことにあたれば必ず道は開ける」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、宮森拓真さんが答辞を述べました。



同日、会場を金沢東急ホテルに移し、卒業パーティーが盛大に行われました。  
 ※卒業パーティーの様子は裏面参照

## トピックス

### 第9回保健・医療・福祉創造フォーラム 開催報告

11月15日(土)に第9回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが多数参加しました。大会テーマを「ライフステージごとの栄養と健康」とし、鈴木明子氏(ロフイキユアスケーター)、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所研究員)による講演「スケートを通して見つけた大切なこと」が行われました。講演後にはシンポジウム「ライフステージごとの栄養と健康」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報意見交換の場となりました。



平成26年11月15日

### 金城大学・金城大学後援会 共催事業 EIZO株式会社 実盛祥隆 社長(金城大学後援会長)講演会

平成26年12月18日(木)18時より本学社会福祉学部棟110大講義室にて、社会福祉学部・医療健康学部の両学部

平成26年12月18日

4年生及び希望学生、教職員を対象に、E-ZO株式会社 実盛祥隆社長（金城大学後援会長）による、「未来と自分を変えられる——新社会人となるにあたって」と題した講演会が開催されました。

当日は、半谷静雄学長兼医療健康学部長の挨拶に始まり、実盛祥隆社長の講演では「変わる」、「異なる」、「違う」をキーワードに、社会、会社、実盛社長ご自身のあゆみ変化や異文化での考え方や価値観の違い、会社（組織）に対する対応能力とコミュニケーション能力の重要性についてお話しいただき、更にIQ（知能指数）とEQ（心の知能指数）の違い、社会に出てからのさまざまな場面における順応性や逃げないことの重要性などについて講演がありました。また、学生時代の友人はかけがえのない生涯の友であるというお話もあり、参加した学生を始め教職員にとってもたいへん有意義な内容でした。最後に、加納宏志社会福祉学部長よりご講演への感謝の言葉と、学生への激励がありました。

卒業を目前にした学生達にとっては、貴重な機会となり、また、「たいへん参考になった」との感想が数多く聞かれました。



## 金城大学看護学部棟竣工式・内覧会開催報告

平成27年3月17日



新たに建設していた看護学部棟が完成し、3月17日（火）に竣工式・内覧会が開催されました。竣工式は関係者約80人にご出席いただき、加藤真理事長が白山市と白石石川医療企業団（公立松任石川中央病院）の支援に感謝を述べたうえで、「看護師の養成だけでなく、地域連携、地域貢献を進めたい」と挨拶しました。また、来賓を代表し、山田憲昭白山市市長より祝辞が述べられました。

内覧会には県内の関係者や高等学校の先生方、一般の方々など大勢にお越しいただき、盛況のうちに幕を閉じました。

## 教育・研究活動報告

### 研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月23日～10月30日の期間で実施された活動成果報告会（ポスター発表）の発表者は次の通りです。

- 1 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）  
「運動中の頸部吸気筋の動員パターンに関する研究」
- 2 神谷晃史講師（医療健康学部）  
「運動療法が閉鎖立位時の内反膝（O脚）に与える影響—下肢アライメント、膝関節モーメント、足圧中心位置について—」
- 3 木村剛講師（社会福祉学部）  
「階段昇降動作時のクリアランス—つまりさを予防するために—」
- 4 野口雅弘講師（医療健康学部）  
「血液透析患者における体組成評価の妥当性の検討」
- 5 越納美和助手（社会福祉学部）  
「地域高齢者の買い物への不安の事態とその要因」
- 6 犬丸敏康准教授（医療健康学部）  
「物品把握に伴う手の適合性に関する実験的研究」
- 7 川邊弘之教授（社会福祉学部）  
「聴覚障害学生のためのアクティブラーニング参加支援」
- 8 森啓至教授（医療健康学部）  
「神経変性疾患でみられる嗅覚異常症状の解明をめざして」



### 科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費（助成制度）です。平成26年度の採択交付者は次の通りです。

〔大学〕

- 1 川邊弘之教授（社会福祉学部）  
「視野障害学生のためのHMDシステムの研究—視線移動を考慮した健常者視野の提供—」
- 2 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）  
「転倒要因としての固有感覚の検証」
- 3 下村有子教授（社会福祉学部）  
「夜盲などの光感受性が低下した学生のための暗視カメラを用いた支援システムの開発」
- 4 小島聖講師（医療健康学部）  
「理学療法的治療が関節拘縮の進行予防と回復に及ぼす病理組織学的影響」
- 5 元村智明准教授（社会福祉学部）  
「大阪『博愛社』の研究—125年の歴史的検証—」
- 6 田中克恵准教授（社会福祉学部）  
「特別養護老人ホーム入所者の終末期を支えるチームケアに関する研究」

〔短大部〕

- 1 瀬戸就一教授（ビジネス実務学科）  
「360度カメラを用いた聴覚障害学生生のアクティブラーニング参加支援システムの開発」

### JST助成による研究「視野障害者自立支援がねの社会実装」結果報告

下村有子教授（社会福祉学部）

本研究は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）」実装支援プロジェクトに採択され、平成23年10月から行われておりましたが、平成26年9月に終了いたしました。この研究の目的は近年高齢化が進むにしたがって急増している緑内障、網膜色素変性症、加齢黄斑変性症などで発生する視野障害の支援です。支援がねシステムはその人の視野の位置と大きさを測り、そこに健常者の視野を提供します。全国14か所でデモ機の体験会を開き、200人以上の人々にご協力をいただきました。



# クラブ・同好会 活動報告

学生活動支援費から援助金を交付しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

## 女子卓球部

**活動内容** 私たちは全日本大学総合卓球選手権大会、全日本選手権大会、各種大会の上位入賞を目指し、日々練習に取り組んでいます。寮生活の中でチームワークの向上と目標達成に向かって全員で協力して生活しています。



**活動報告** (T: 団体 W: ダブルス S: シングルス)  
百万石オープン卓球大会(S: ベスト16)、全日本大学総合卓球選手権大会(T: ベスト16)、春季北信越学生卓球選手権大会(T: 優勝 W: 3位 S: 優勝)、夏季北信越卓球選手権大会(T: 優勝 W: 優勝 S: 準優勝)、秋季北信越学生卓球選手権大会(T: 優勝 W: 優勝 S: 優勝)、北信越学生卓球新人選手権大会(T: 優勝 W: 3位 S: 優勝)

## 女子バレーボール部

**活動内容** 部員数…19人(大学4年2人、3年5人、2年6人、1年3人、短大1年2人)、代表者…角越睦、抱負…私たちは「全員バレー」をモットーにチーム丸となり、切磋琢磨しながら日々練習に励み、全国上位を目指して頑張りたいと思います。

**活動報告** 北陸三県学生春季リーグ戦 準優勝、春季北信越大学選手権大会 優勝(2年ぶり13回目)、石川県バレーボール祭 優勝(8年連続8回目)、北陸三県学生秋季リーグ戦 優勝(2年



ぶり19回目)、秋季北信越大学選手権大会 優勝(2年連続14回目)、全国6人制総合男女北信越リーグ優勝(2年連続4回目)、天皇杯皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンド 出場、全日本大学選手権大会 決勝トーナメント進出。

## 男女バスケットボール部

**活動内容** 目標は男女とも上部昇格することです。練習は週3回で、内容はディフェンス、リバウンド、走ることを意識した基礎練習、最後に試合形式の練習を行っています。経験を積むためにほかの大学や社会人との練習試合を行い、県内の大会にも積極的に参加し、技術向上に努めています。

**活動報告** 「男子」笹本杯 福井工大に87:80で勝利、金沢学院大に57:87で敗北、松本大に58:86で敗北(3戦1勝2敗で3部Bリーグ残留)、インカレ予選 富山大学に48:147で敗北、「女子」笹本杯 福井大学に104:44で勝利、佐久大学に71:53で勝利、福井県立大学に74:54で勝利、松本大学に67:52で勝利(4戦全勝で4部優勝) ↓ リーグ3部昇格、インカレ予選松本大学に67:93で敗北。



## ダンス部

**活動内容** 金城大学ダンス部です！私たちは月曜日と金曜日に短大リズム室で練習しています。休日には主に地域のお祭りや、福祉施設でのイベントに出演しています。冬には卒業生も含めて、衣装・振付・脚本舞台美術など全て自分たちで作り上げる自主公演を行っています。部員みんなが家族のように仲良く、BBQやピクニック、ボーリング大会、夏合宿など楽し

い行事も盛りだくさんです！

**活動報告** 春合宿、新入生歓迎会、夏合宿、石川県大学ダンス連盟(U.P.)公演、秋合宿、合同学園祭ショーケース、金城祭ショーケース、公演直前合宿、年間40回以上のイベントに出演しました。



## 男子バレーボール部

**活動内容** 週4回の練習。目標は、北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることである。目的は、心と体を鍛え、人としての魅力ある生き方ができるような部活動を目指している。

**活動報告** 春季北陸三県大会1部3位、春季北信越大学選手権大会1部5位、(ベストスコアラール賞…川田洋輝)、中部日本6人制総合選手権大会石川県予選1回戦敗退、天皇杯皇后杯石川県予選大会3位、秋季北信越大学選手権大会1部5位、(ベストスコアラール賞…川田洋輝)、石川県6人制バレーボール総合選手権大会3位、石川県ウインターリーグ参加。



## キンボール部

**活動内容** キンボールはカナダ発祥のニーススポーツです。知らない人も多いと思いますが、男女関係なく楽しめるスポーツです。私たちは、大会に参加しなが

ら、部員全員で、楽しみながら一生懸命活動しています。

**活動報告** 今年度は、第15回キンボールスポーツジャパノープン・チャンピオンズカップと第10回キンボールスポーツ日本海カップ2014と第12回石川オーブンキンボールスポーツ大会の3つの大会に出場してきました。部員で力を合わせて上位目指して活動しています。



### 硬式野球部

**活動内容** 北陸大学野球2部リーグを制覇するために、夏休みと春休みについては、毎週火曜、木曜、土曜、日曜、授業期間中は、毎週土曜に練習しています。春季リーグ戦、秋季リーグ戦、新人戦で二つでも多く勝利を収めるようチーム一丸となつて活動しています。



**活動報告** 平成26年度 北陸大学野球春季リーグ戦 3位、北陸大学野球新人戦 1回戦敗退、平成26年度2部 北陸大学野球秋季リーグ戦 7位でした。授業等で全員が集まらないうちに、選手間で工夫して練習に取り組んでいます。

### VORABO

**活動内容** 実際に被災地へ行き、災害ボランティアを主にしています。頻度は1年に1回で、このボラン

ティアを通して机上では学べない被災地の状況や、現地の人達の思いを直に感じ、私たちがいる石川県でもできることはないか考えていけるように取り組んでいます。

**活動報告** 昨年同様に若手県に行き、遺留品搜索がれき撤去と、



サロンで現地の高齢者との交流を行いました。その他にも、6月には白山市ボランティアセンターでのボランティアに関する勉強会、10月には赤い羽根共同募金の街頭募金に参加しました。

### フットサルサークル

**活動内容** 活動日時は不定期、月1・2回程度、場所は松任青少年体育館で、フットサルを行っています。

**活動報告** 前年度同様、活動は月に1・2回程度ですがフット



サルやサッカー経験者が多く、サークル内の試合はレベルが高いです。しかしながら、未経験者も楽しく活動しています。さらに今年度は大会に初めて出場しました。結果は準優勝でよい成績を残すことができました。さらにレベルアップを図り、多くの大会に参加していこうと思っています。

### 釣り同好会

**活動内容** 毎週火曜日を活動日として釣りの基本とマナーについて学んでいます。休日を利用して、学外での釣り活動や大会、地域ボランティア活動などに参加しています。初心者ばかりの同好会ですが、とても楽しく活動しています。



**活動報告** 平成26年5月上旬岐阜県での川釣り大会に参加し、女性・子ども部5位6位。5月25日「クリンビーチいしかわinはくさん」参加。8月下旬富山県桂湖での1泊2日の夏合宿開催。9月上旬CCZにてタコ釣り実施。

### バトンサークル Luce

**活動内容** バトンサークルLuceは、バントワーリングを行うサークルです。水曜日の放課後に、短期大学部棟のリズム室にて活動しています。現在メンバーは11人で、初心者も多く所属しています。バトンの回し方や身体の動かし方、美しい姿勢を保つために柔軟や筋トレを行い女子力を磨いています。

**活動報告** 平成26年度は、大学内で筋トレと基本動作を中心に練習する活動をしていましたが、次年度以降は、地域に密着した活動ができるよう活動していきたいと考えています。



平成27年  
3月18日

平成26年度

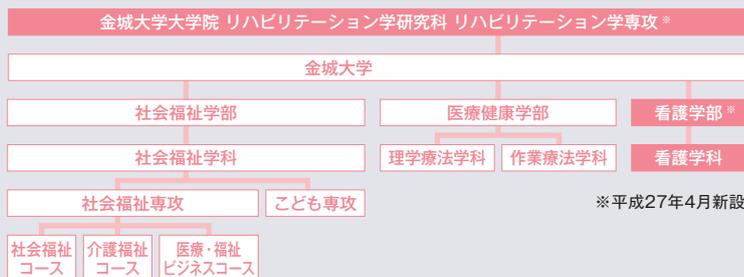
# 卒業パーティー



## ▶平成27年度 大学行事案内

平成27年度 入学式：平成27年 4月 1日(水)  
 平成27年度 新入生歓迎会：平成27年 4月 4日(土)  
 平成27年度 新入生合宿研修：平成27年 4月17日(金)～19日(日)  
 平成27年度 後援会総会：平成27年6月中の土曜日を予定しています  
 第40回 金城祭：平成27年10月24日(土)・25日(日)  
 平成27年度 地域別説明会：平成27年12月12日(土) (予定)

## ▶平成26年度 金城大学 学部・学科構成 一覧



## 2015年4月新設

# 金城大学 看護学部

絶え間なく患者さんを見守る独自の視点と、  
チーム医療を担う広い職見を持った看護師に!

入学定員  
80人

取得可能な資格  
看護師  
国家試験  
受験資格

## 2015年4月 開設

## 金城大学 大学院

リハビリテーション学研究所  
リハビリテーション学専攻(修士課程)

専任人員  
5人

多様で実践的な研究を行い  
リハビリテーション領域の  
リーダーを養成します

## 大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部

フリーダイヤル  
0120-276-150

TEL  
076-276-5175 (直通)

FAX  
076-275-4316

E-mail  
daigaku@kinjo.ac.jp

# KIND

金城大学後援会 会報誌【KIND】第20号 平成27年3月31日発行 編集兼発行:金城大学後援会 事務局  
(学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 半谷静雄・後援会会長 実盛祥隆 (EIZO株式会社 代表取締役社長)  
石川県白山市笠間町1200 TEL.076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL>http://www.kinjo.ac.jp/ku / <E-mail>u-koenkai@kinjo.ac.jp